

# 畑だより！

時々、畑の様子をお知らせします。

## 6月3日(日) 自由参加の畑活動



今回は暑さを予想して時間を午前にして作業をしました。

畑に着くと、まだ朝露がたくさん残っていて、履いていた靴が濡れてしまうほどです。ジャガイモの様子を見てみました。

少し土の中をのぞいてみると、

大きないもができています。

トマトはとても良く育っていて、先日来た時に脇芽取りをして挿し木をしたものが元気に生きていました。

実が少し色付いていました。

脇芽取りをし、一本のを二本仕立てにしています。



サツマイモは一つの苗を除いて順調に育っています。

レタスを収穫し、畑を出て事務所へ向かいました。

ブルーシートを敷いて土作りをし、ポットに土をいれ、二個ずつ枝豆の種を入れました。

今回使用したのは、培養土、赤玉土、ピートモス、腐葉土です。

最後に水をかけて終わりです。

今後は発芽するまで水やりはせず、発芽してから畑に定植するまでは事務所などで水やりなどの管理をします。

7月までには植えられるはず



(6月15日の枝豆)

次回7月1日(日)はジャガイモ、トマトの収穫、予定しています。

集合：9時 菅田駅改札口 (土気発8:56 鎌取8:45)



朝、畑に行くと、いつも湿度が高いように感じています。

いままで畑では、苗植えの時以外一度も水やりをしていますが作物はすくすく育っています。

一つ目の畝にはジャガイモとレタスを植えました。仲良く出来るからです。

隣では、トマトとバジルを一緒に。その隣の畝にはサツマイモを植えてありますが、ここに枝豆を一緒に植えます。

作る野菜によってどこを食べるかで必要な養分が偏ります。トマトは「実」、バジルは「葉」というように。

大まかに分けると食べるのは根・茎・葉・実(種)なのでそれに見合った肥料が必要になってしまいます。

しかし、この畑では隣の森から養分が常に染み出てきているので全ては揃っているはずです。

ただそのバランスを崩さず、一つの場所で同じ養分を取りすぎないようにしています。

限られたスペースで色んな生き物がうまくやっていて、虫、微生物、植物、私たち。それぞれ大切な役割があります。

ジャガイモの葉の上にはいつもてんとう虫やその幼虫がいて、アブラムシを食べています。アブの仲間の幼虫もアブラムシを食べます。でもアブラムシの大親友、アリが幼虫達を襲います。

アリは常にアリグモなどに狙われています。

青虫は鳥に食べられたり、ハチにたまごを産み付けられたり、アリに連れて行かれたりします。

一つ一つの出来事は必ず無駄なことではなく、何かに繋がっています。

私たちは、この畑で皆が助けられながら育つというバランスを崩さないようにがんばることが一番大切だと感じます。言葉にすると難しいですが、子供たちもそれを体感できたらと考えています。

畑でご挨拶をした方が、ジャガイモの保存方法について教えてくださいました。

りんごを一緒に入れておくと良いそうです。

私もやってみようと思いました。

今後、何を育てようかと、採取できそうな種を考えています。



(にんじんの花)

私が採取できる物は化成肥料や農薬などは使っていない種で、今現在畑に植えてある野菜は全てその中から選んだものです。

今後も出来るだけそのようにして育てたものを子どもたちに食べてもらいたいと計画しています。

今まで採取してある種は色々ありますが、これから採れそうなものは、ニンジン、レタス、リーキネギなどがあります。イチゴの苗もできますので子ども達の意見も取り入れながら畑でもやれたらと考えています。私の自宅のプランターの土は、コガネムシの幼虫が耕してくれますが、畑ではモグラがミミズを食べながら、土をフカフカにしてくれています。

